第106回 全国書道コンクール出品要項

左記のとおり硬筆コンクール作品を募集します。奮ってご応募下さい。

一、中学生・小学生・幼年

●課題＝次ページ掲出課題

●用紙＝本会選定用紙

○幼・小一年……四行用紙

○小二年以上……五行用紙

●用具＝幼年から小三まではえんぴつ

小四以上は、つけペン、デスクペン、ボールペンのいずれかを使用。

一、出品料（一点につき）

会　友　六三〇円

中学～幼年　五三〇円

一、出品締切り

令和六年七月二十四日（水）必着のこと

一、送り先

509－5134　土岐市泉島田町一－三〇

大書心会全国書道コンクール係

一、審　査

期　日　七月三十一日（水）

午前九時半から

会　場　セラトピア土岐

三階第一～二会議室

一、審査員

認定審査員・及び八十点以上出品の団体責任者に委嘱。

一、褒　賞

大賞・準大賞・会友特選（以上会友作品を対象とする）・会長賞※土岐市長賞※同教育長賞※同市議会議長賞※中日新聞社賞・大書心会賞・理事長賞・師範会賞・理事奨励賞・特選・奨励賞・俊英賞・優秀・秀作・入選・佳作

（※印は申請中）

○全員に賞状、賞品を授与します。

○成績優秀な団体には、団体賞を授与します。

一、団体出品

5点以上まとめて出品の場合は団体扱いとなります。特典もあり、その他出品目録が必要となりますから大書心会事務局あてお申込み下さい。

▽支局・支部には、予め出品目録及び明細表を六月号送本時に同送いたしました。

一、成績発表

本誌十月号誌上。（各団体宛にも通知いたします）

※作品展及び授賞式はございません。

一、会長賞受賞者の特典

●六段以下の受賞者は一階級昇格を認めます。

●現在小五年生以上で、幼年から通算して三回受賞した場合は会友を認定します。

※いずれも八月から昇格します。

一、特別昇級の特典

硬筆部1級以下の出品者は、全員一階級特進を認めます。（申請者のみ）

一、その他

○一人何点でも出品できますが、特別賞受賞は一人一点とします。

○出品料は**為替か小為替にして作品と同封し書留で送るか、現金書留による送金**に限ります。（振替、その他は不可）

○作品は月例競書と同封してもよろしいが必ず混同しないよう、明確に区別して下さい。

〔注〕

※硬筆コンクール作品展及び授賞式は、行いません。

※この誌上コンクールには、どうぞ奮ってご応募下さい。

▼原寸大手本（コピー）

一枚……五〇円（送料実費）

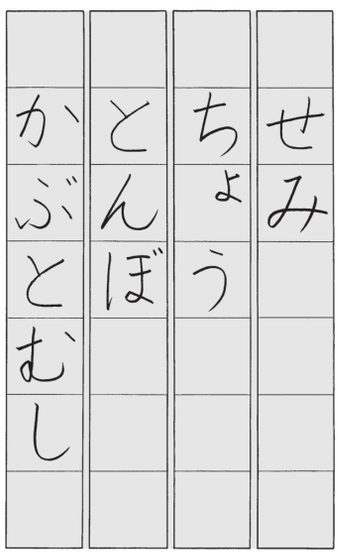
▼選定用紙（四行・五行用紙とも）

一冊……八〇円（送料実費）

※ご注文の節は、「四行」または「五行」とはっきりご指定下さい。

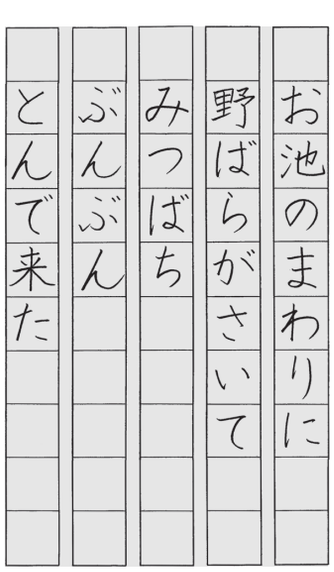
第106回コンクール課題（テーマ＝むし）

幼　年（えんぴつ）

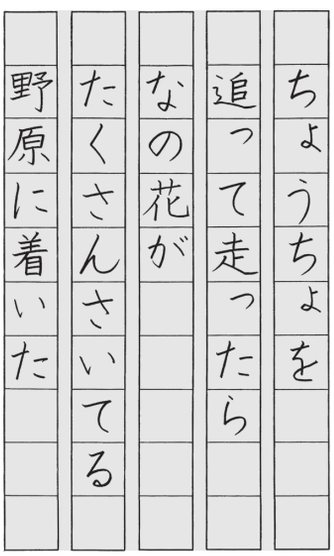


小一年（えんぴつ）

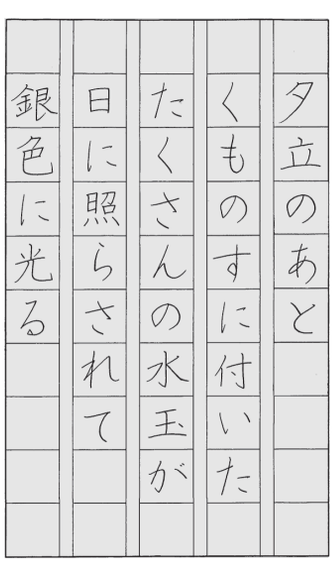
小二年（えんぴつ）



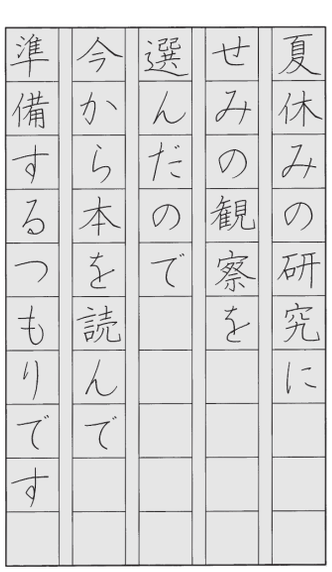
小三年（えんぴつ）



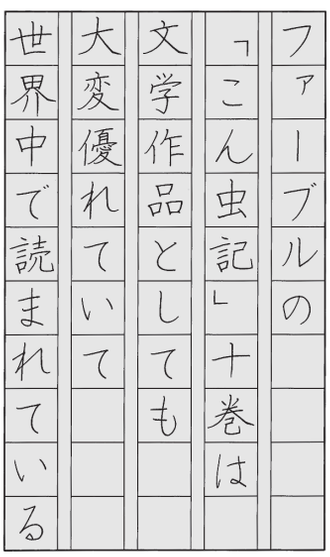
小四年（ペン）



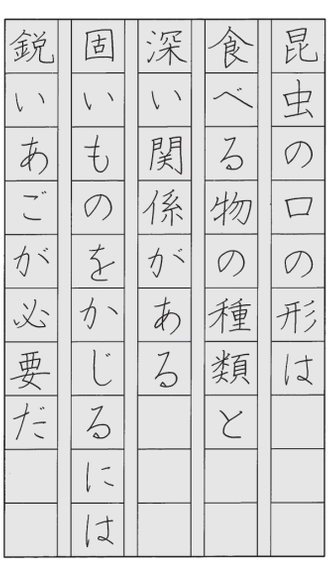
小五年（ペン）



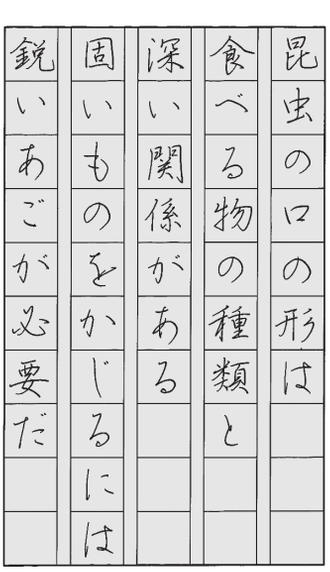
小六年（ペン）



中一年　楷書（ペン）



中二・三年　行書（ペン）



※「ペン」は、つけペン、デスクペン、ボールペンのいずれかを使用。

※幼年から小四までは上一段あけて書いて下さい。句読点は省略します。

三体千字文を書く（43）

締切り　七月二十四日（必着）

奥村憲照先生書

◆硬筆の専門誌だった大書心に一般毛筆部が設立されたのは、昭和五十六（一九八一）年四月のことです。

◆「三体千字文」課題からスタートし、憲照先生の穏健中正で気品のある手本が好評を博しました。

◆短期特別課題として、平成二十四年一月から二年間と平成二十八年の一年間学びましたが、今回はその続きです。

◆原点に返って、基本用筆と正しい崩し方をしっかり学びましょう。

〔千字文〕

四言古詩二五〇句、重複しない千字からなっており、聖徳・修養・修身・斉家等について述べられた習字手本であり、初学者の教科書でもあった。

梁の武帝（在位五〇二～五四九）の命を受け、周興嗣が王羲之の筆跡中からまとめたといわれる。

〔解説〕

知過必改
得能莫忘

過失は必ず改め、
道を悟ったら忘れることなかれ。

◎作品の出し方

▼硬筆部＝B5判（二五七㎜×一八二㎜）以下の紙に書いて下さい。用具は自由です。（黒色に限る）

▼毛筆部＝半紙に書いて下さい。（筆ペン可）

▼出品制限の対象とはしませんが、出品は硬・毛のどちらか一方に限ります。

▼**事務処理上、支部略称・氏名・会員番号・硬筆規定の成績（毛筆の場合は毛筆漢字の成績）**を、作品余白にお書き下さい。

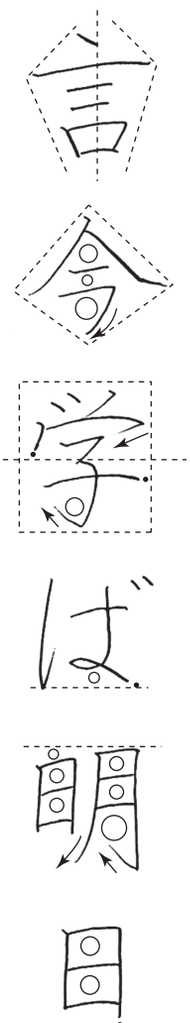
▼優秀作品は、写真版として成績表の後ろに掲載しますが、成績表での順位発表はしません。

一般部規定課題

締切り　７月２４日（必着）

新入から１級まで

〔解　説〕



古田瑞苑（ふるたずいえん）書

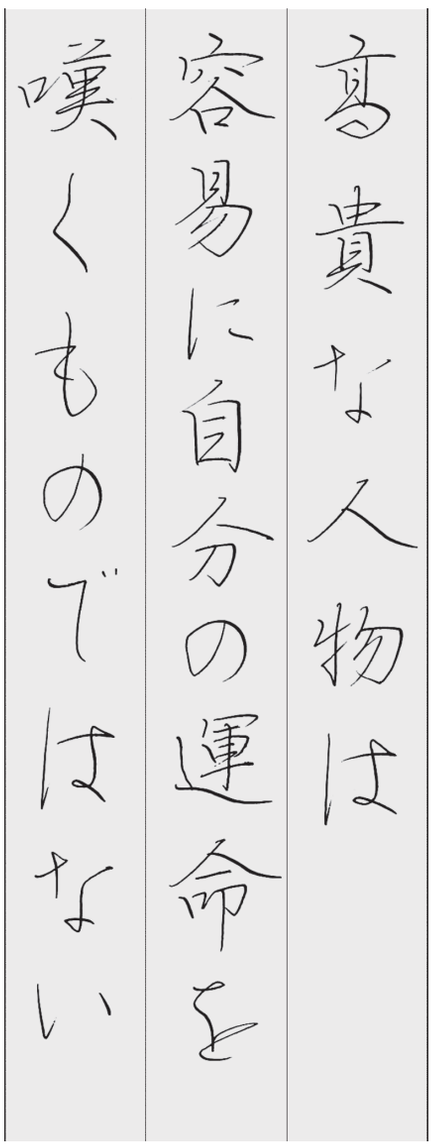
▷用具＝自由（黒色に限る）

▷用紙＝本会級位用紙

★言う…（書体＝楷書）
朱子（一一三〇～一二〇〇）
中国・朱子学の祖
「勉強は今日やらなくても、あしたやればよい」などと考えてやらずにいると、そのあしたになってもまた「今日やらなくても…」というふうになって、だんだん怠け者になる。勉強は多少苦痛を伴うものであるが、毎日するうちに、かえって楽しくなるものであり、将来、大きな成果をあげることができる。

◆**8月課題予告**（行書）
われ以外
みなわが師なり
吉川英治

準初段から六段まで



〔解　説〕

▶教範・書範は右課題を「楷書」で、師範は「行草または草書」で出書して下さい。

新井龍峰（あらいりゅうほう）書

▷用具＝自由（黒色に限る）

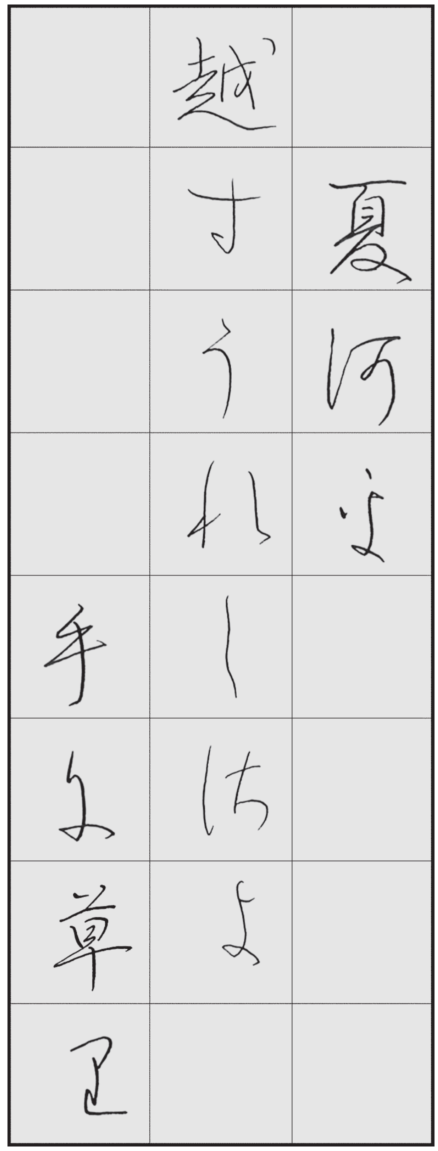
▷用紙＝本会段位用紙

★高貴な…（書体＝行書）
ショーペンハウアー（一七八八～一八六〇）
ドイツの哲学者
偉人や成功者といわれる人は、自分の悲運とたたかい、あるいは堪えながら進路を切り開いて幸運をかちえた人が多い。自分の悲運を嘆いたり、のろったりして、すべて運命のせいにする人は、それだけで人生の敗者であることを自分から認めているようなものである。

◆**8月課題予告**（行草または草書）
尊敬がなければ
真の恋愛は
成立しない

▼教範・書範＝行書
▼師範＝楷書

新入から１級まで



夏河を（乎）越す（寸）うれしさ（佐）よ手に（尓）草履（里）

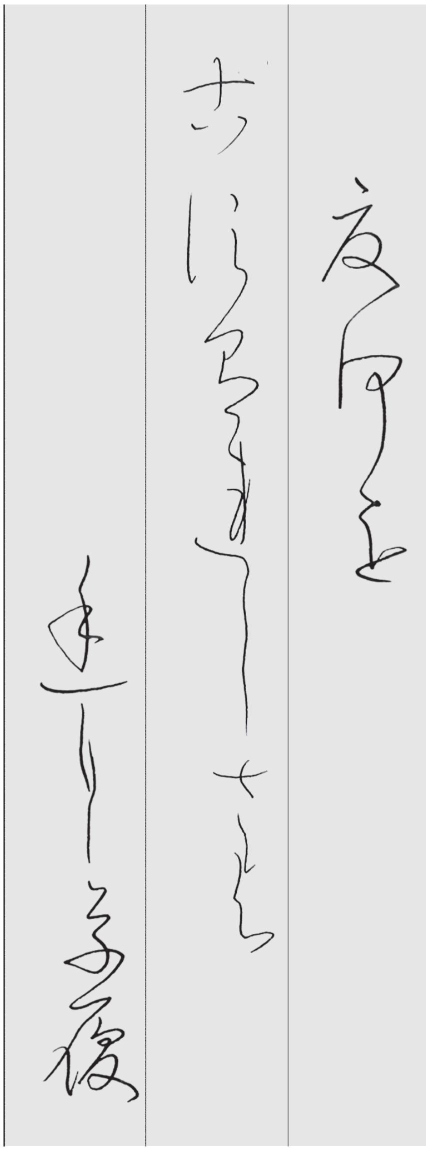
田中貴光書

▷用具＝自由（黒色に限る）

▷用紙＝本会級位用紙

■両課題とも、文字の変換・配字は自由です。

準初段から六段まで



夏河を越（古）す（須）う（有）れ（連）しさよ（與）手に（耳）草履

田中貴光書

▷用具＝自由（黒色に限る）

▷用紙＝本会段位用紙

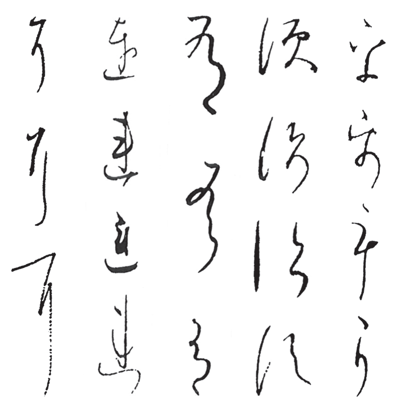
夏河を越すうれしさよ手に草履
（与謝蕪村）

〔句解〕さらさらと音を立てながら小川が流れている。さっそく裾をまくり裸足になって水を渡る。草履は手に持ち、じゃぶじゃぶと冷たい底砂を踏んで行くのが、快くうれしい。

〔鑑賞〕宝暦四年（一七五四）～七年（一七五七）の丹後（京都府）時代の作。真夏の夕刻、冷たい水に入った生理的な快感は少年のものであり、率直な表現がよく下五の稚拙感を成功させた。

〔古筆参考〕

乎（を）　須（す）　有（う）　連（れ）　耳（に）

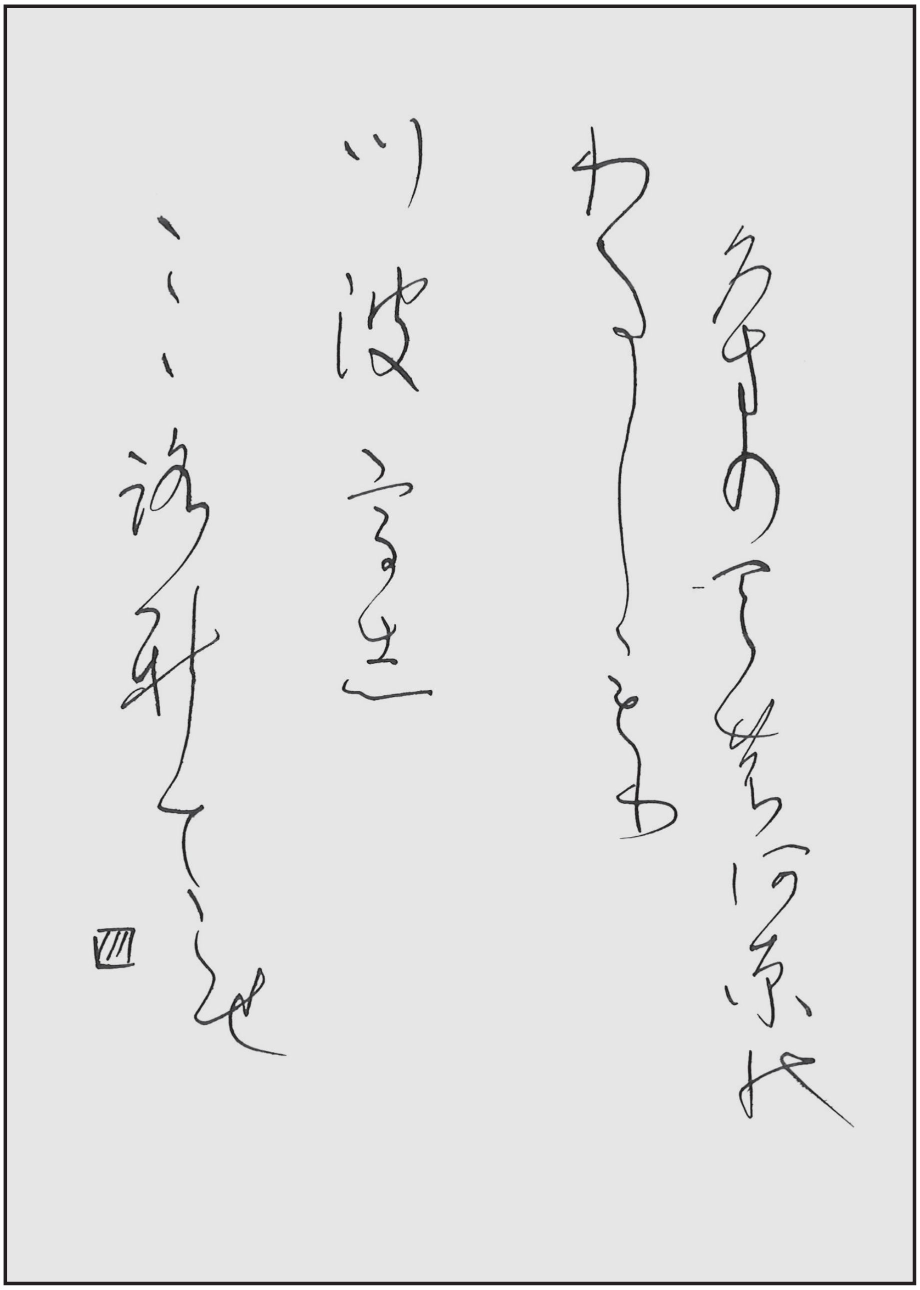


〔解説〕「し」は、「之」が元の字ですので、真っ直ぐではなく少し揺すって「〜」のように書いてみて下さい。

◆８月課題予告

鵜の面に川波かかる火影かな
（高桑闌更）

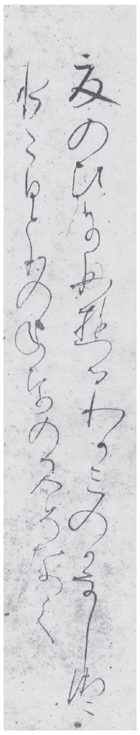
締切り　七月二十四日（必着）



簗瀬舟香（やなせしゅうこう） 書

〔古筆参考〕

香紙切（こうしぎれ）



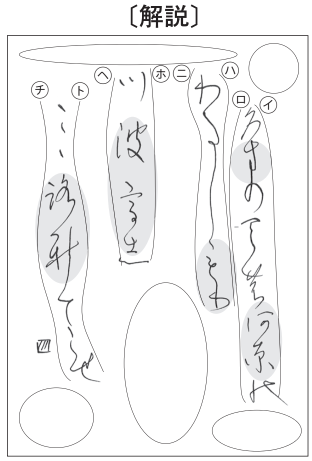
夏のひにもゆるわがみのかなしさに
水こひどりのねをのみぞなく

久方の天の河原のわたしもり
川波高しこころしてこせ

〔歌意〕天の川原の船頭よ、川の浪が高く立っている。十分注意して越してもらいたいものだ。

〔出典〕近世和歌集（日本古典文学大系）

〔解説〕



- ㋑と㋺、㋑と㊁、㋑と㋬、㋑と㋠、㋩と㊁、㋩と㋬、㋩と㋠、㋭と㋬、㋭と㋠、㋣と㋠、それぞれ呼応。
- ◯余白
- 行のポイント ｝それぞれ注意。

◆8月課題予告

草の庵（いほ）に足さしのべておやまだの
蛙（かはず）の声をきかくしもよし

実　用　文のページ

締切り　７月２４日（必着）

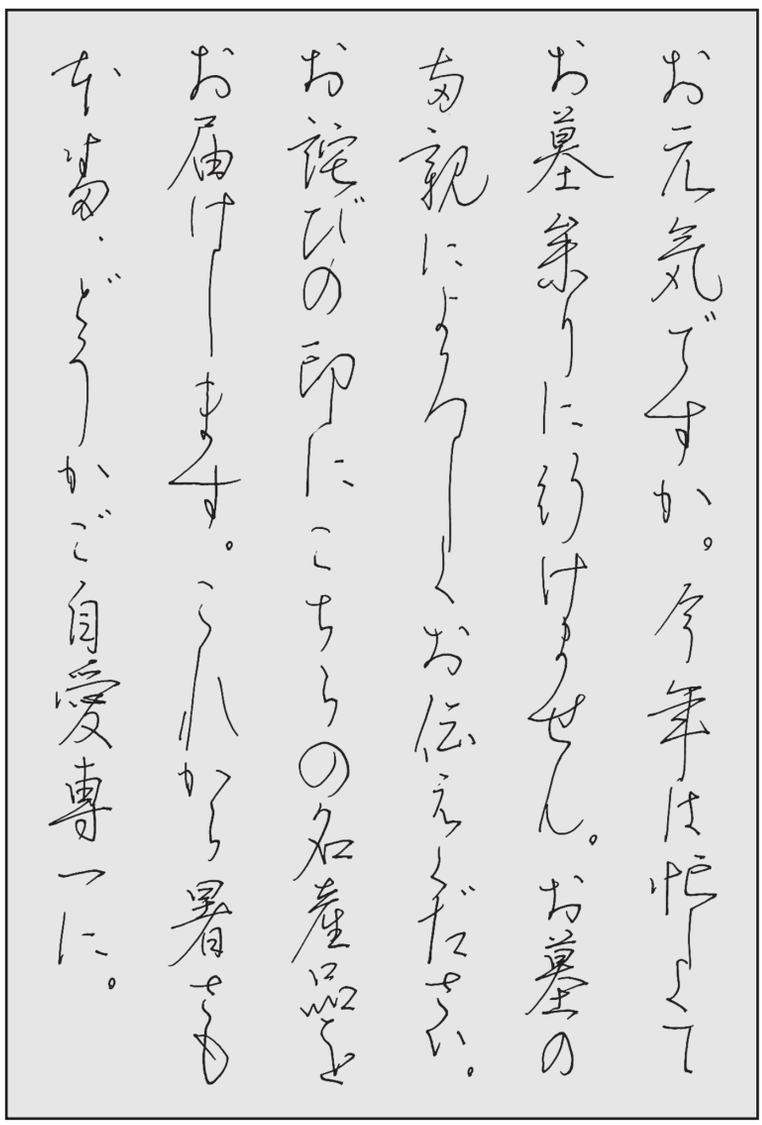
お元気ですか。今年は忙しくてお墓参りに行けません。お墓の両親によろしくお伝えください。お詫びの印にこちらの名産品をお届けします。これから暑さも本番、どうかご自愛専一に。

作品の出し方

- ■ 新入から師範まで、どなたでも出書できます。成績は評価により毎月変わります。
- ■ 用紙＝はがき課題ははがき用紙、横書き課題は一般部段位用紙を横に使用。
- ■ 用具＝はがき、横書き課題ともに自由。（黒色に限る）
- ■ 両課題とも、書体変換は自由です。

はがき課題

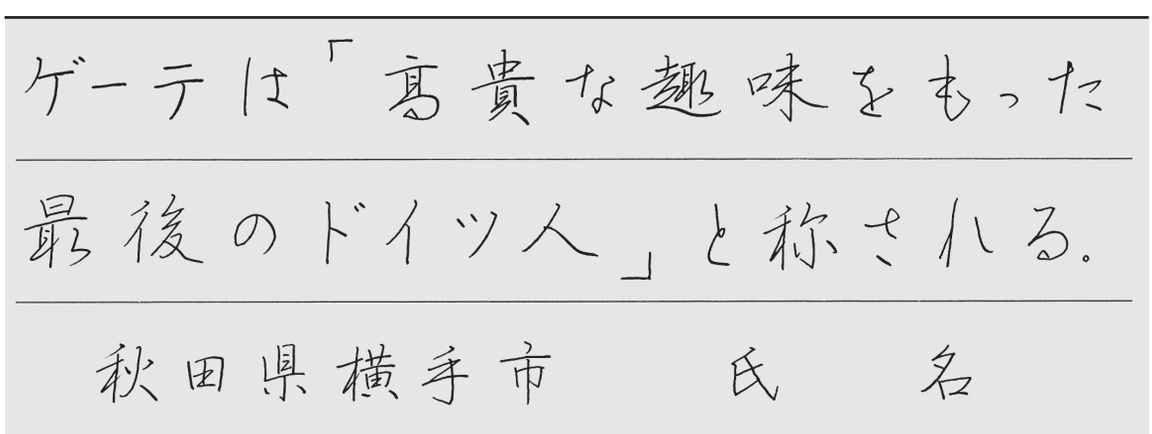
玉樹小華書



※手本は水性ボールペン使用

横書き課題

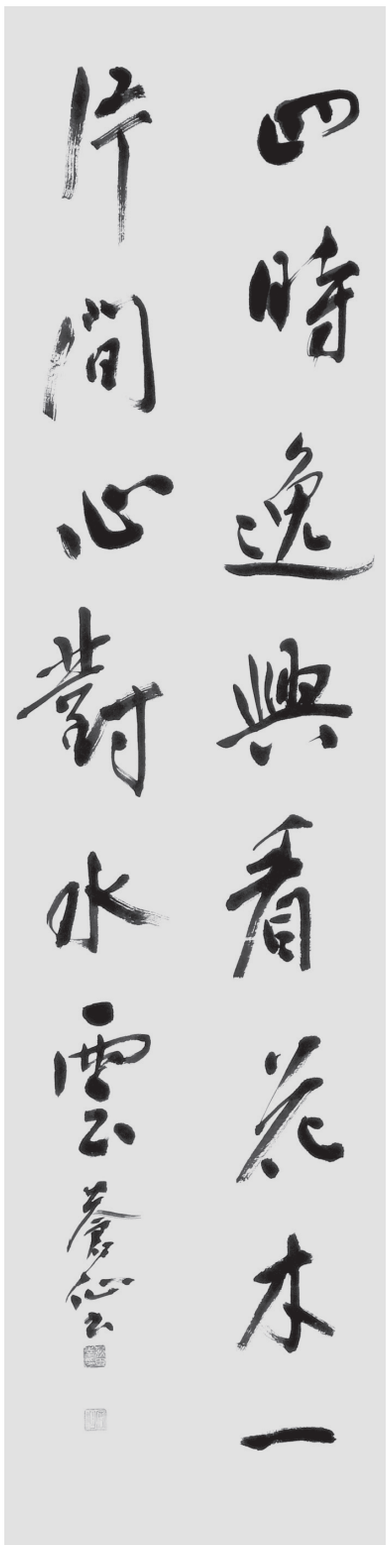
尾郷翠光書



※手本はつけペン使用。　★三行目は、**指定の地名**と氏名を書いて下さい。

一般部毛筆条幅課題

締切り　七月二十四日（必着）　**半　切**（一三六㎝×三五㎝）



四時逸興看花木　一片間心対水雲（しじのいっきょうかぼくをみ　いっぺんのかんしんすいうんにたいす）

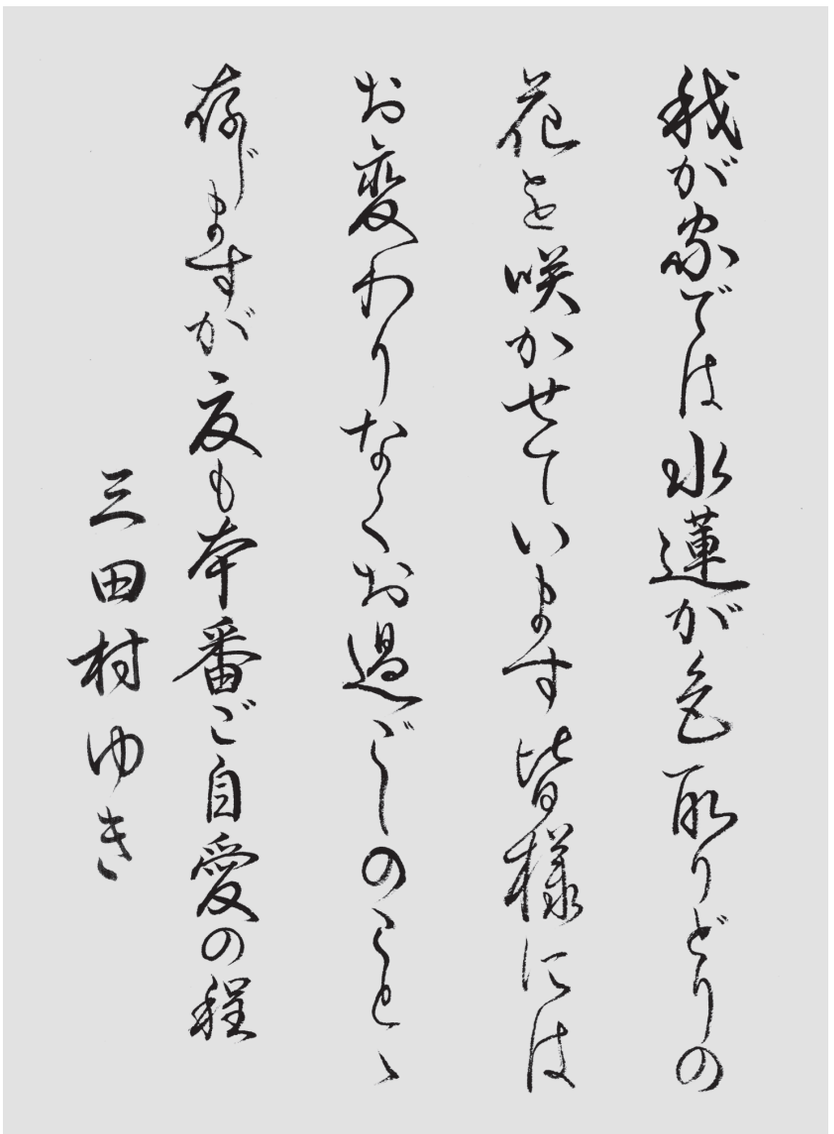
荻田蒼仙（おぎたそうせん）先生書

〔大意〕春夏秋冬のすぐれた興趣は花やもみじを見るに在る。ただ一片の清閑なる心は水村の雲などにむかうのにふさわしい。

初出品の方へ

支部名・会員番号・姓名・毛筆漢字成績を、作品左下に必ずお書き下さい。

一般部毛筆細字課題



半紙（３３４mm×２４０mm）　伊藤梅香（いとうばいこう）書

〔条幅解説〕

初心者の方にも、とりかかりやすいように書きました。形が平易なので仕上がりが弱くならないように。そのために筆の腰とバネを利かして線の強さに留意して下さい。

我が家では水蓮が色取りどりの
花を咲かせています　皆様には
お変わりなくお過ごしのことゝ
存じますが夏も本番ご自愛の程
（ご自分の氏名）

・印で墨つぎしました。

〔条幅・細字作品の出し方〕

■新入から師範まで、どなたでも出書できます。

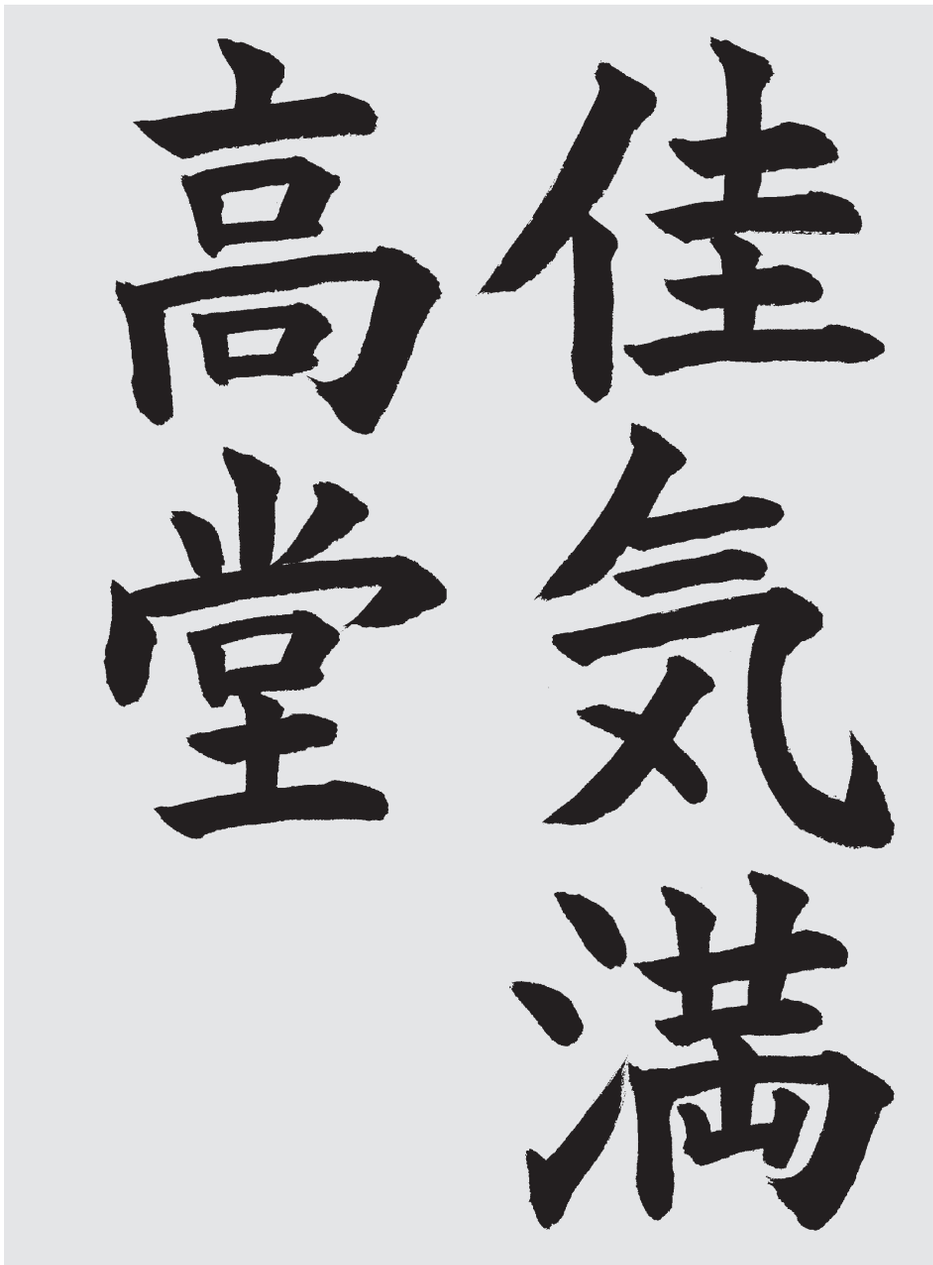
■成績（天位～5等）は、評価により毎月かわります。

■書体変換、変体仮名の交換は自由です。

一般部毛筆漢字課題

締切り　７月24日(必着)

新入から1級まで（楷書）



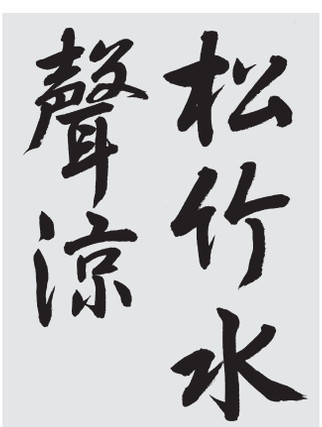
清水翠芳書

佳氣滿高堂（かきこうどうにみつ）

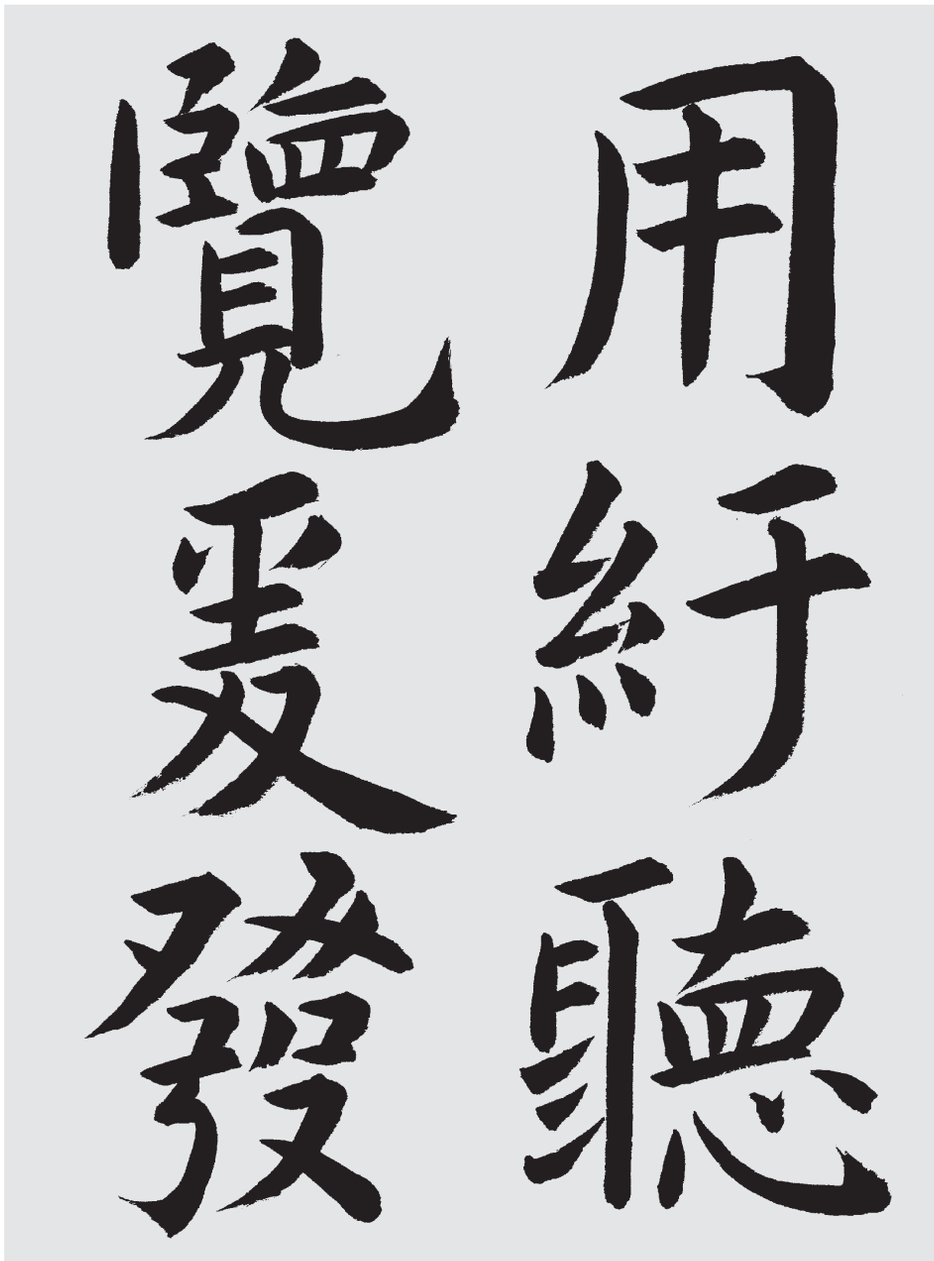
〔大意〕めでたい瑞気　よい座敷に一杯に満つ。高堂は、他に対する敬語。

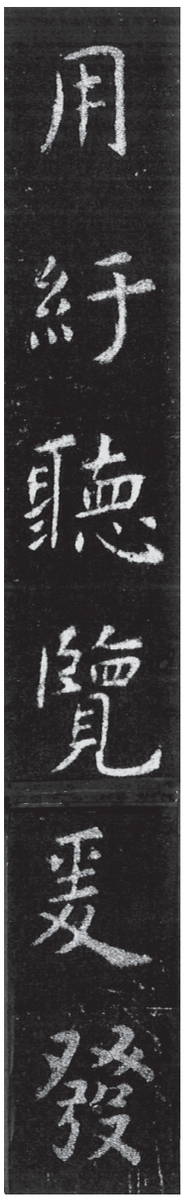
〔解説〕

◆8月課題予告（行書）



準初段から師範まで





用紆聽覽爰發

須田一葉臨

〔出典〕孔子廟堂碑（六二六～六三三）
〔筆者〕虞世南（五五八～六三八）
〔読み〕用って聴覧を紆らし、爰に（糸綸を）発す。

〔解説〕

用紆
聽覽
爰發

※文献によって字体が異なる場合があります。

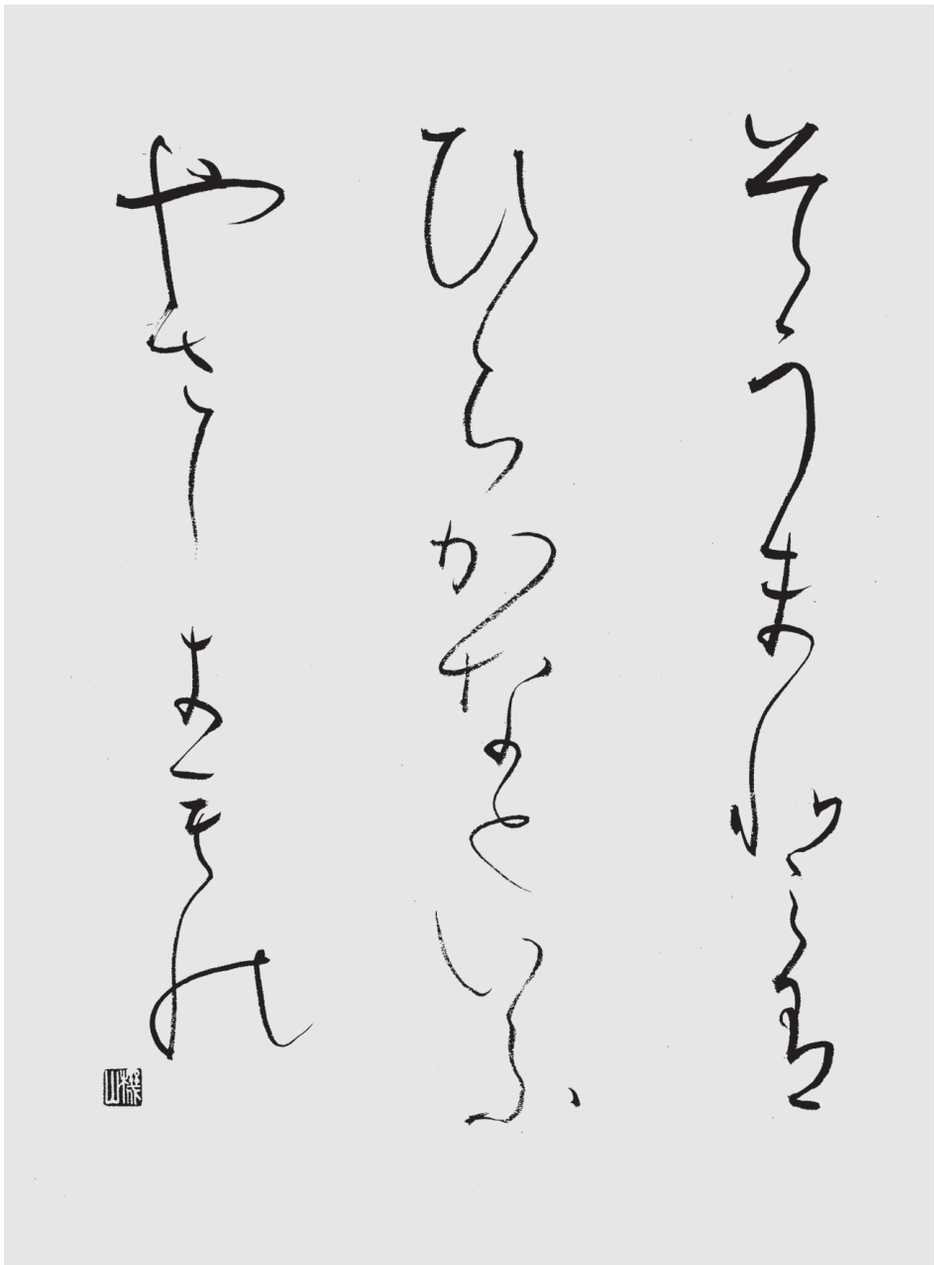
◆8月課題予告

右法法
之玄宗

一般部毛筆かな課題

締切り　７月24日(必着)

新入から1級まで

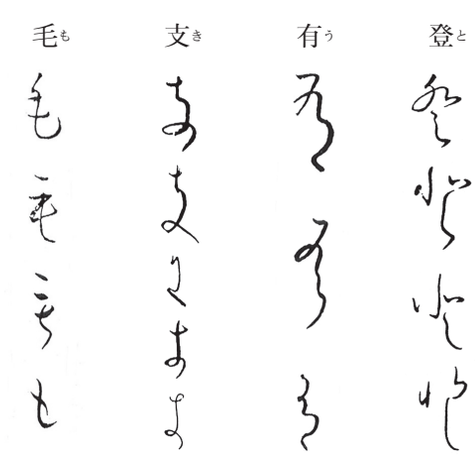


浅井機山先生書

走馬燈(そうまとう)ひらがなといふ優(やさ)しきもの　支毛能
辻田克巳(つじたかつみ)

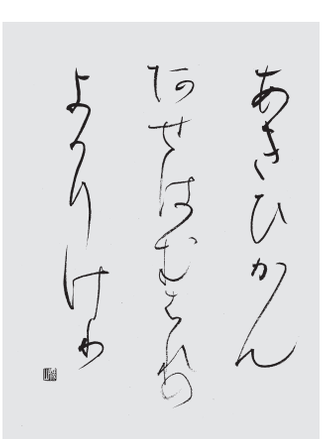
〔句意〕走馬燈が静かに廻っている。そこに書かれたひらがなも優しく美しい字体に感じられる、の意。流れるようなひらがなの特色がとらえられた句。

〔古筆参考〕



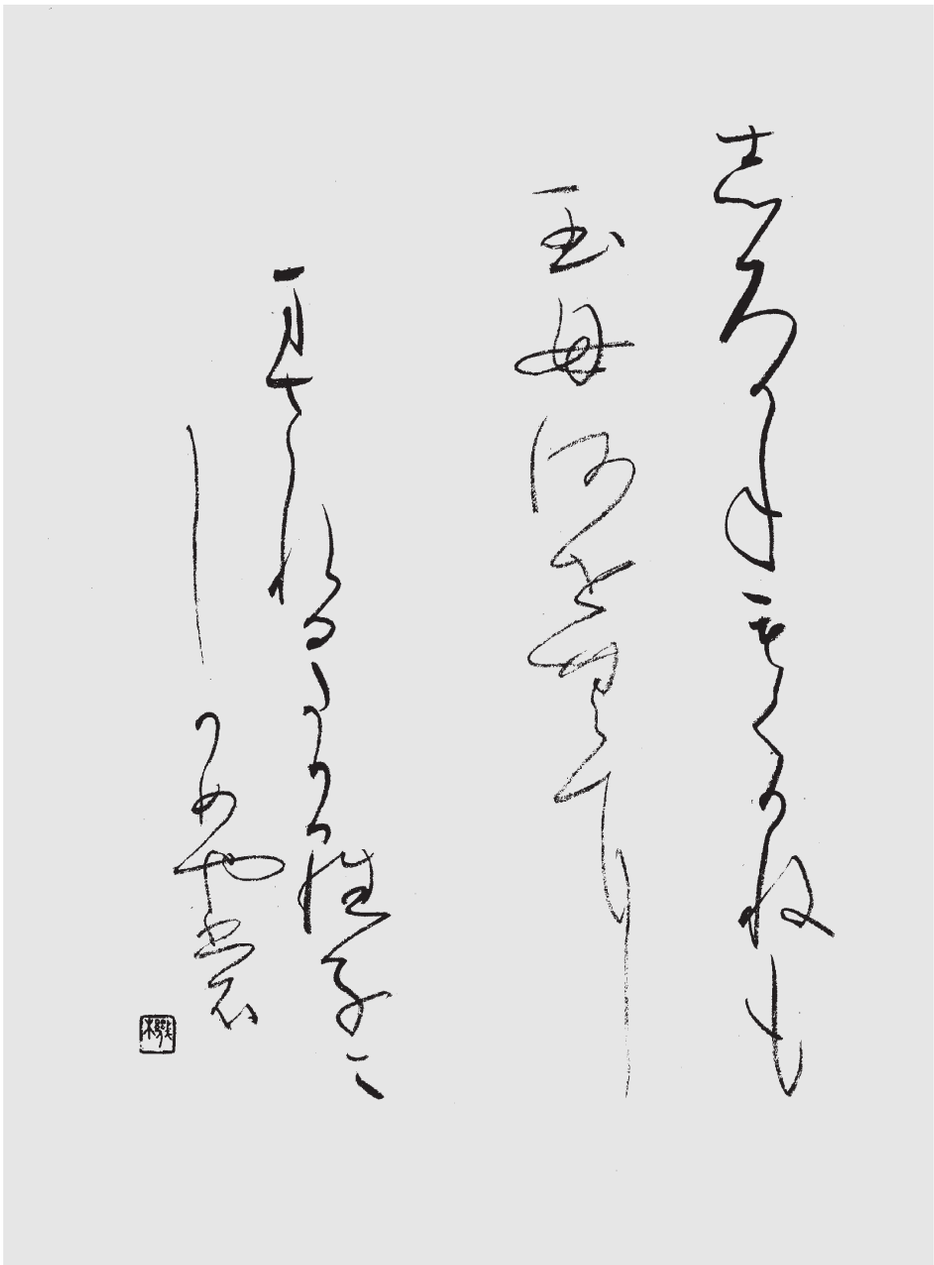
登(と)　有(う)　支(き)　毛(も)　能(の)

◆8月課題予告



秋彼岸(あきひがんあせ)汗(あせ)ばむ晴(はれ)のよかりけり

準初段から師範まで



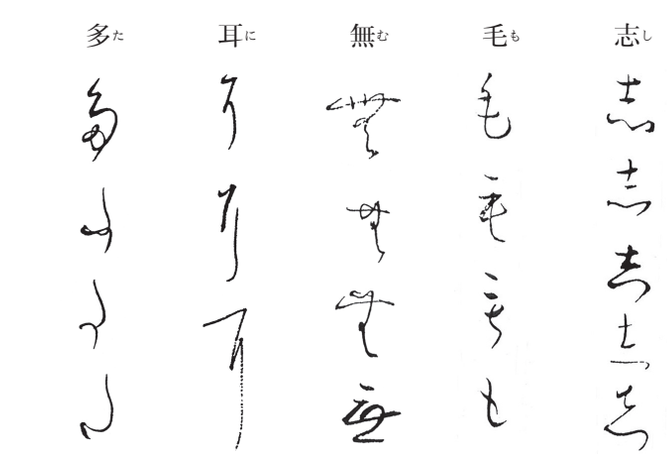
浅井機山(あさいきざん)先生書

志ろ可年　毛(も)く可ね
銀も金も玉も何せむに
母　世　無　耳
万　多可羅　二(に)し可　裳
まされる宝子に如かめやも
山上憶良(やまのうえのおくら)

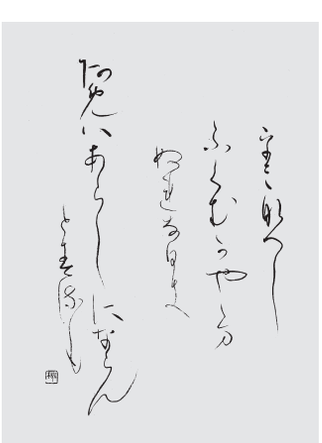
〔歌意〕銀も金も玉も我にとっては何になろう。どんなにすぐれた宝でも子らに及ぼうか、及びはしない。

〔古筆参考〕

志(し)　毛(も)　無(む)　耳(に)　多(た)



◆8月課題予告

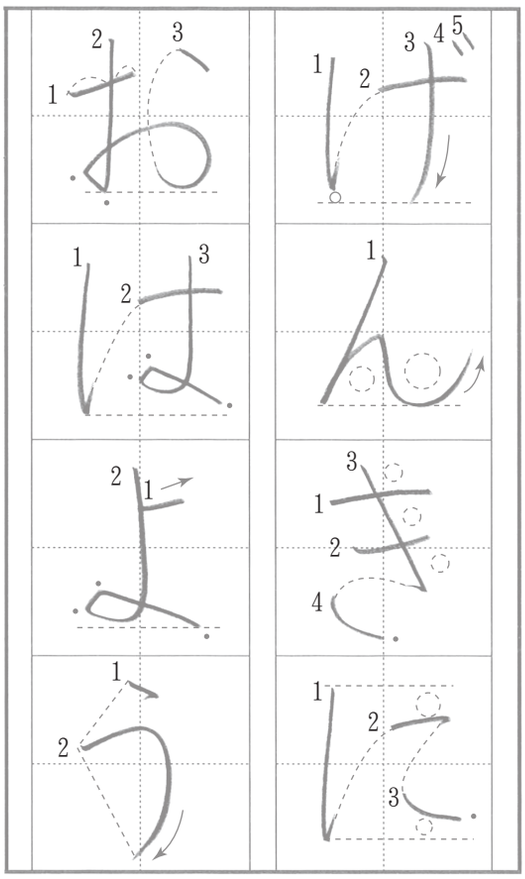


女郎花(をみなへし)ふくむ萱山濡(かやまぬ)れなびき
雨(あめ)は嵐(あらし)にならんとするも

教育部硬筆課題（きょういくぶこうひつかだい）

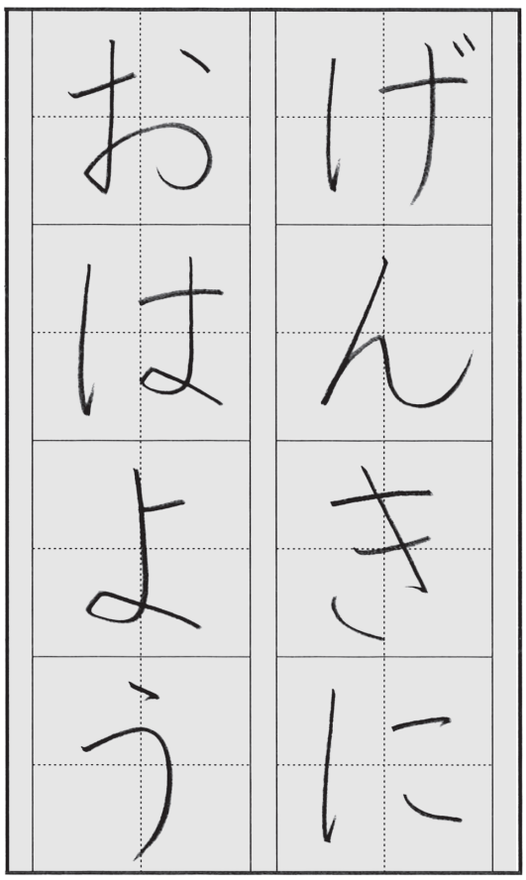
しめきり　７月２４日（必着）

ようぐ　自由（黒色にかぎる）



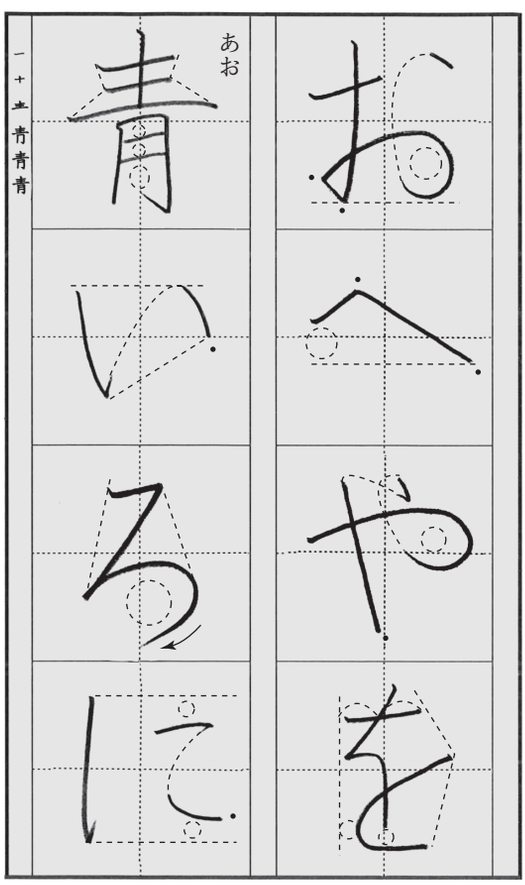
◆ひらがなトレーニング（なぞってかいてみよう）

ようぐ　年



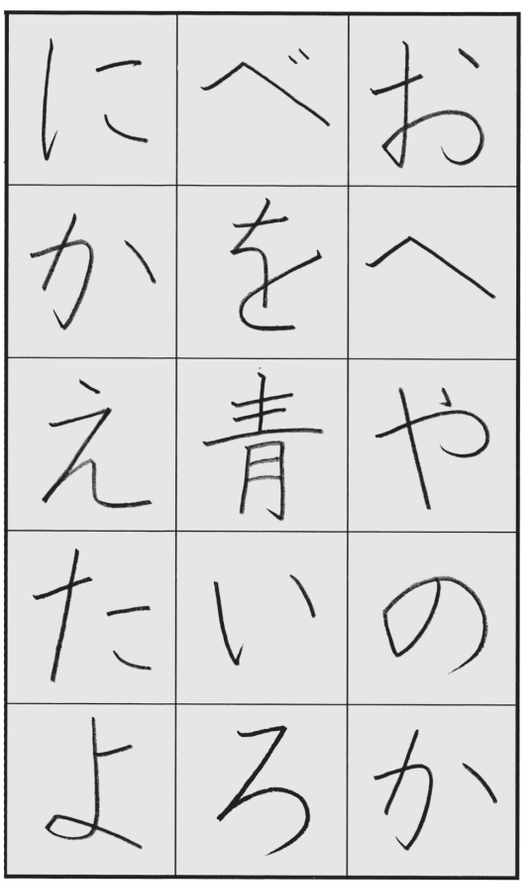
★新入は、年少・年中・年長の別を記入して下さい。
★幼年は、全員８マス用紙で出書して下さい。

幼年～小三年まで　三宅容玉書（みやけようぎょく）



新入～１級

小一年



（注）えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。

準初段以上

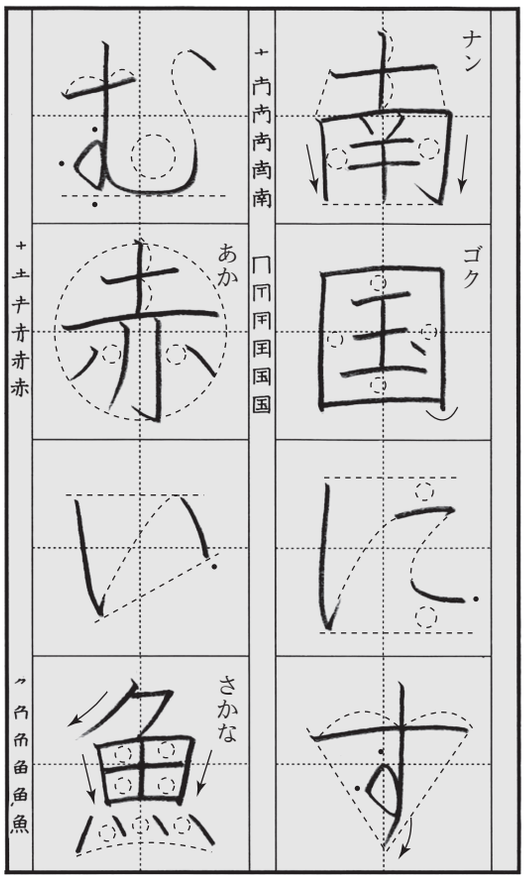
教育部硬筆課題（きょういくぶこうひつかだい）

しめきり　７月２４日（必着）

小二年

水そうの中
には南国に
すむ赤い魚

準初段以上



新入～1級

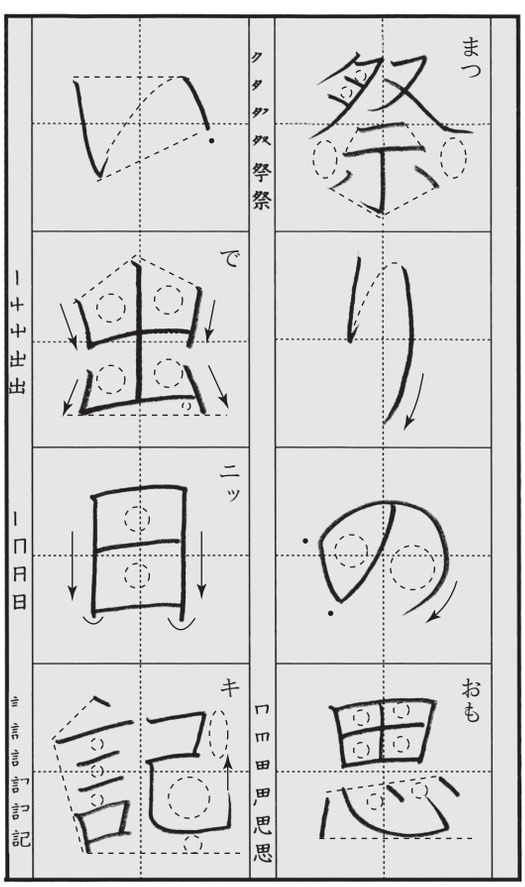
〈ようぐ〉自由（黒色にかぎる）

小三年

夏祭りの思
い出を絵日
記にかくよ

（注）えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。

準初段以上



新入～1級

教育部硬筆課題

しめきり７月２４日(必着)

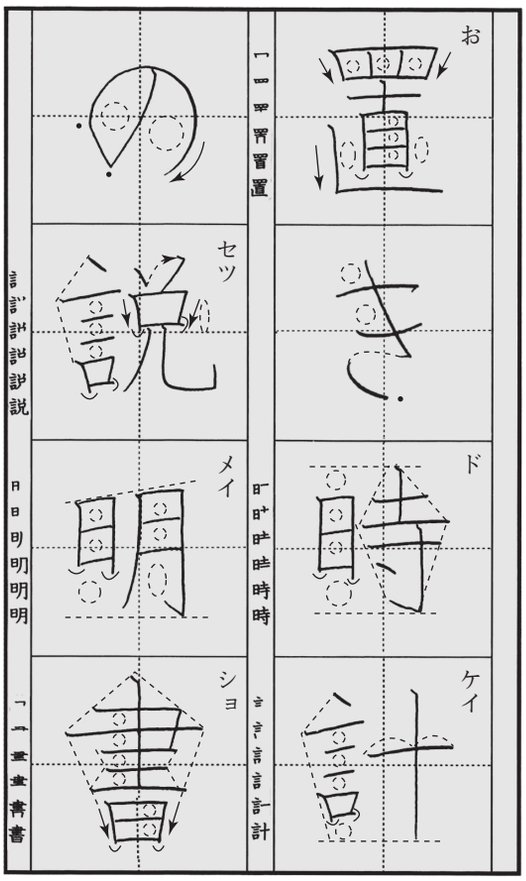
小四年

準初段以上

置き	時計	の
説明	書を	よく
読み	使う	

※時計(とけい)＝単語としてこのように読みます。

新入～1級



〈用具〉自由（黒色に限る）

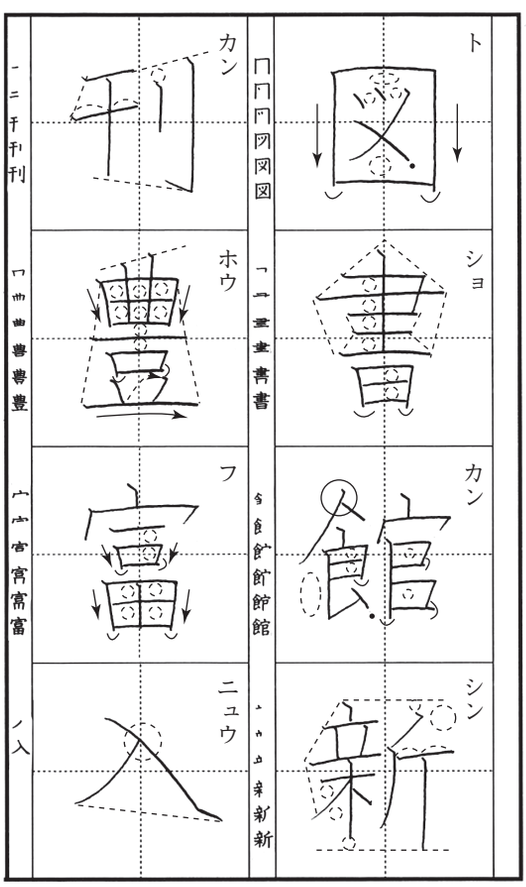
小五年

（全員）

小五以上は、全員15マス用紙で出書して下さい。

図書	館に	新
刊が	豊富	に
入荷	した	よ

解説（よく見て習いましょう）



小四年以上　岡嶋桂川(おかじまけいせん)書

教育部硬筆課題

しめきり７月２４日(必着)

小六年

厳	し	い
検	査	を
通	過	し
た	製	品
の	外	国

（全員）

中一年

祖	母	の
粘	土	細
工	作	品
が	展	示
さ	れ	た

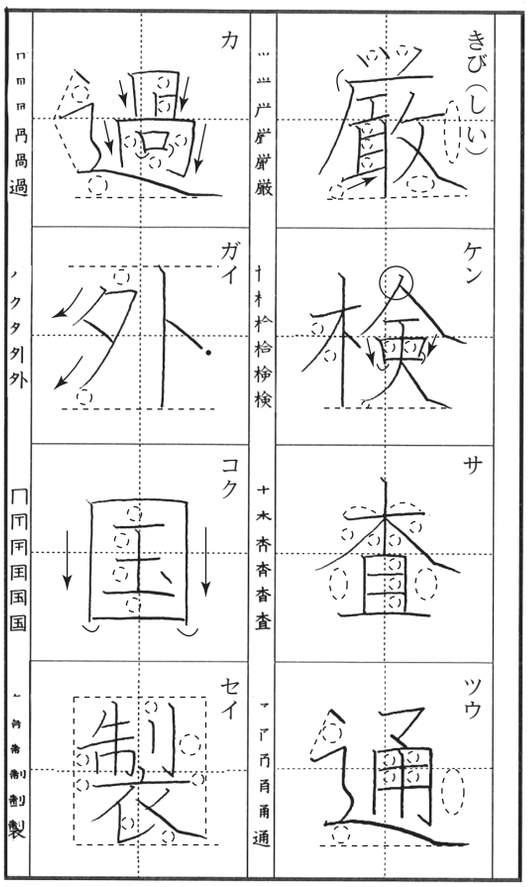
（行書）

中二・三年

新	し	い
水	中	眼
鏡	を	持
っ	て	海
水	浴	へ

（行書）

解説（よく見て習いましょう）



〈用具〉自由（黒色に限る）

こどものひろば

しめきり　７月２４日（必着）

▼小三年以下の課題　松井千游書

ゴーヤにきゅうり
なす・トマト
夏の畑は
元気な野さいで
大にぎわい

◎お手本はえんぴつ使用

習っていない漢字は
ひらがなで書いてもよろしい。

▼小四年以上の課題　浮本光紗書

ライフセーバーの
お兄さん達が
海開きに向けて
人命救助の
厳しい訓練中

◎お手本はつけペン使用

※お兄さん＝単語としてこのように読みます。

◇作品の出し方

一、選定用紙（五行・四行）に書いて下さい。
一、作品には、支部名（校名）学年、氏名を書き入れて下さい。
一、筆記用具は自由です。（黒色に限る）
一、四行用紙を使用してもよろしい。その場合は、文章を適当に短くして下さい。
一、成績は評価により毎月変わります。
一、支部会員は、出品ラベルを必ず貼って下さい。**貼っていない方は新入とみなします。**

教育部毛筆課題（きょういくぶもうひつかだい）

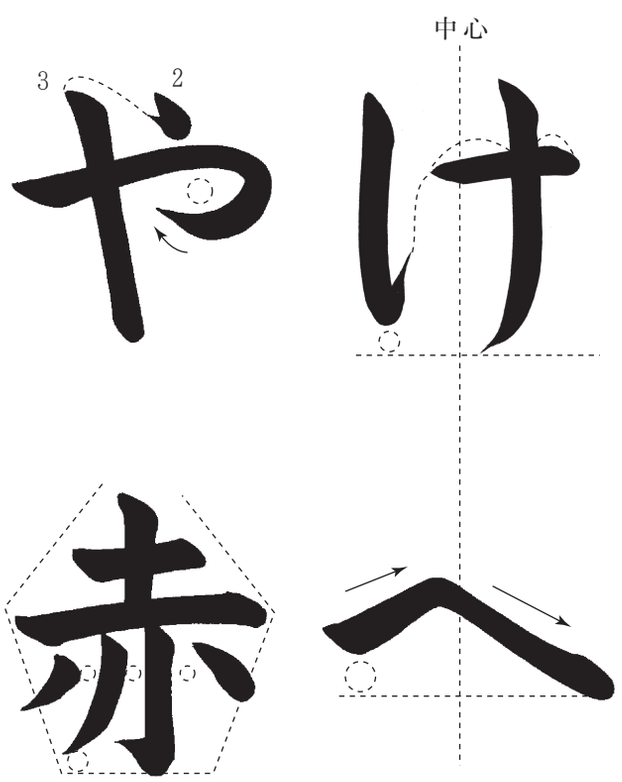
しめきり　７月２４日（必着）

幼年～小二年　酒井智仔書（さかいともこ）

小二

赤い

さい



小一

へや

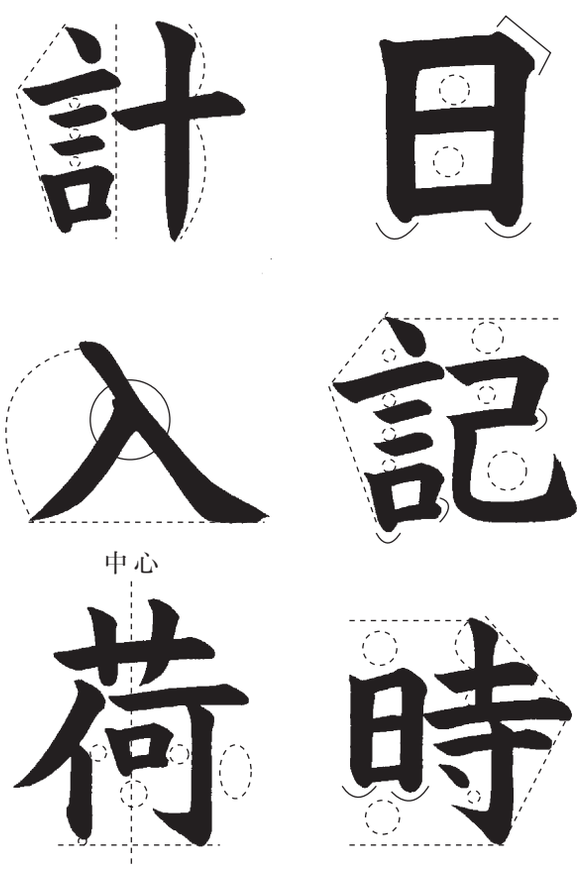
教育部毛筆課題

しめきり　７月２４日（必着）

小三

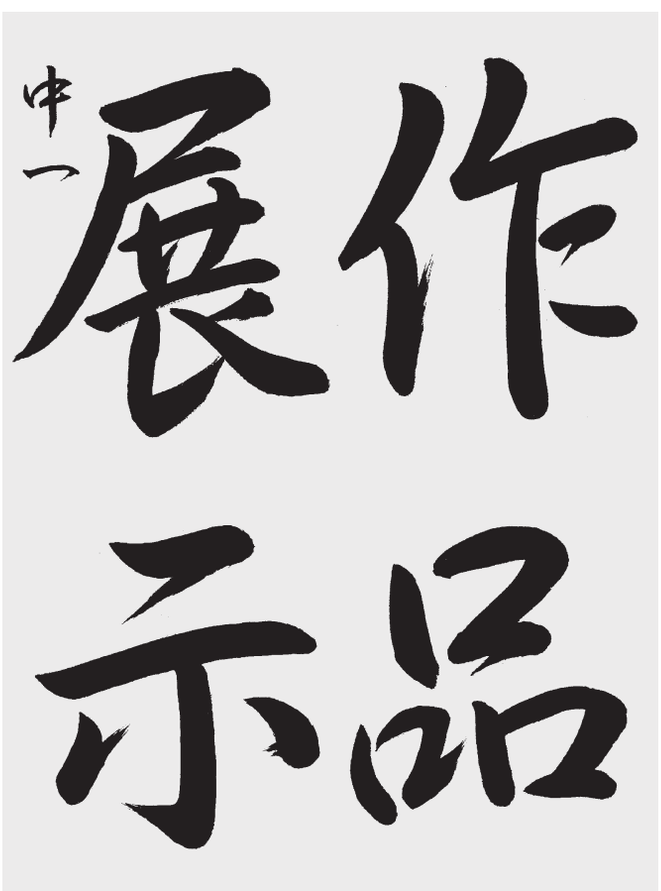
小四

小五



小三～小五年　水野碧友書

小六～中二・三年　永谷恵子（ながたにけいこ）書



※行書では画のつながりに注意しよう。